



4年ぶり祇園祭が開催



7月28、29日、高野町の祇園祭が開催されました。前週から柳、翠、相生、東町の各町で毎晩稽古の音が聴こえ、子どもたちも「もうすぐお祭り」と楽しみに当日を待ちました。稽古の様子を覗いてみると、この数年で町に住み始めた移住者も参加し、真剣に練習を重ねていました。4年ぶりで曲を忘れてしまったりしないかしら……というのは余計な心配で、地元育ちの皆さんは身体が覚えているとのこと。現役世代を見守るかつての若衆の皆さんも、太鼓を叩く手振りが自然と出てくるようでした。

両日とも大いに盛り上がり、特に宵祭りの四町競演会、本祭りの注連縄切りは、多くの見物客が肩を寄せ合い、固唾を吞んで見守りました。東町ではさくほサマーガーデン実行委員会、商工会青年部による「さくほサマーガーデン」も開催。大人たちは生ビールに町内飲食店の各種お



つまみ、子どもたちは子ども神輿にヨーヨー釣り、花火などを楽しみました。町内のダンスチームなどによるパフォーマンスも披露され、町の皆さんが受け継いできた歴史と、地域の今が感じられた2日間でした。

さくほのひとさら



Instagram



Facebook



さくほクイズにチャレンジして景品をゲット！

町公式LINEにて町外在住者向けの情報発信がスタートします。



これを記念して「さくほクイズ」を実施します。LINEで回答し全問正解者の中から抽選で5名の方に、「白駒の郷ギフト」が当たります。

ふるさと納税で人気！
信州南佐久の美味しさと温かさが
つまったカタログギフト

クイズの回答はこちらから



「さくほクイズ」の問題例

ちょうみん かず もっと おお みょうじ
町民の数が最も多いのはどの苗字？

- い で こばやし ささき
① 井出 ② 小林 ③ 佐々木

暑い日は冷かけそばで夏バテ防止！かわせみさんの「信州ひすいそば」は、そば粉も佐久穂町産です。

ひすいそば専門店 かわせみ
平林94-3 TEL 0267-88-6643



季節の楽しみ in さくほ



ダムで遊ぼう!

八千穂SAUNA (八郡2049-856)



小屋サウナ、バレルサウナ、テントサウナと複数のサウナを巡れます。息子さんと運営する長岡美穂さんによれば、夏でも1日中涼しく、

湧き水掛け流しの水風呂に森林浴と、八千穂高原の自然を満喫できる環境が自慢だそう。

<お問合せ先> 080-3466-3134 (長岡)

詳細、ご予約はウェブサイトをご覧ください



サウナでスツキリ!

余地ダム 限定開放&遊水イベント

ラフティングボート体験会

対象: 小中学生とご家族
日時: 8/18(金)、19(土)
①10:00~ ②12:30~ ③14:30~
各回定員10名、90分程度
荒天・強風の場合は中止。
集合時間等はお申し込みの方にご連絡いたします。



お申し込みは町公式LINEからアンケートフォームが起動します。応募者多数の場合は抽選になります。



お問い合わせ先 役場 総合政策課 政策推進係 TEL:0267-86-2553

KOKYU (高野町2913-6)



東町商店街のコミュニティカフェ&バー内に8月中にオープン!(予定)サウナのあとは千曲川を臨むデッキでのんびりしたり、店内でコーヒーやビールも。ナイトサウナも計画中です。

詳細、ご利用方法はInstagramをご覧ください



町の注目情報

「旅する育児〜山いくin 佐久穂町ちいろばの杜〜」

7月23日〜26日、首都圏の3家族が町に滞在しました。子どもが認定こども園「ちいろばの杜」で過ごす間、大人は町内散策やリモートワーク、夜は家族で地域の味や里山の夜を楽しむプログラムです。「ちいろば」の内保園長によれば、川遊びや本物のノコギリや包丁を使う体験に、子どもたちの目がキラキラ輝いていたそうです。(主催:株式会社grow&partners 他)

降霜の被害を受けた果樹農家の支援を〜ガバメントクラウドファンディングのご案内〜

今年4月に発生した凍霜害で佐久穂町産の果樹(りんご・ブルーベリー等)の収穫見込みが大幅減となっております。町ではふるさと納税を通じた寄付を受け付け中です。寄付金は、凍霜害を防ぐ燃焼資材等の購入費の補助や被害を受けた果樹農家の支援に活用されます。

7月末現在100名以上が支援、約8割達成!

寄付はこちらから



【目標金額】 200万円

【募集期間】 8月31日(木)まで

リレーコラム さくほ推し♡

佐久穂町出身の皆さんにリレー形式で近況と町への思いを語っていただきます。



第1回: 岡部和久さん (佐久穂町出身 佐久市在住)

現在はJR東日本に勤め、大宮の新幹線総合指令所で新幹線の運行管理をしています。結婚後、佐久穂町から職場に通勤することも考えました

が、当時は新幹線運転士として長野へ通勤し、不規則な勤務体制でもあったため、佐久市に住むことを決断しました。

しかし佐久穂町への思い入れは強く、今でも家族や友達に会いに帰ります。小さい頃は外遊びが中心で、川では魚釣りや手づかみ、山では基地作り、自転車で何十キロも離れた場所へ探検、そしてクラブ



31年前の夏。左から4番目が岡部さん

では野球、スケートに明け暮れ、佐久穂町環境や人の素晴らしさを肌で感じながら成長できました。

私と同様、町を離れてから改めて、佐久穂の素晴らしさを感じている人も多いと思います。そんな皆さんにはぜひ、子供や孫・知人を連れて佐久穂へ出掛け、素晴らしさを体感してもらいたいです。そして、いつかまた住んでみたい、移住してみたいと思ってもらえれば嬉しいです。

編集後記: 町に移住して4年目で初めて祇園祭に参加でき、感無量です。さくほ通信clubでも、今年は山菜採りにタケノコ刈りなど、暮らしの中の楽しみを体感する活動を増やしています。皆さんが親しんできた遊びや行事も、ぜひ教えてください。(E.Y)

<企画・編集> さくほ通信club・(一社)アンテナさくほ

<発行> 佐久穂町役場総合政策課 長野県南佐久郡佐久穂町大字高野町 569 番地 TEL0267-86-2553

さくほ通信club note

